

生物多様性の保全

地球環境への意識が世界的に高まる中で、企業が取り組むべき環境課題は多様化しています。

地球温暖化防止や資源循環、化学物質管理などの環境負荷低減活動に加え、生物多様性への配慮も求められるようになってきました。事業活動が生物に与える影響の最小化を図るとともに、社会との連携を通じて生物多様性保全に貢献していくよう努めています。

生物多様性保全の取り組み

新日本無線グループは、各社各事業所で植樹や屋上緑化、緑のカーテンなどの緑化活動を継続的に行うとともに、生態系サービスの基盤である生物多様性の保全に努めています。

新日本無線では、2010年度から森林保全活動を開始しました。

半導体製品の生産には大量の地下水を汲み上げて使用しています。水は、森の生物によって浄化され、地下水となります。天然資源である水をいつまでも使い続けていくためには、森林の生物多様性を保全する必要があります。

2010年度は埼玉県越生町「龍ヶ谷」にてクヌギ、コナラ、ヤマグリ、ヤマ桜など240本の植林を行いました。植林に参加できなかった従業員には、森林保全活動に募金という形で参加してもらいました。

今後も緑化活動や下草刈りなどの森林保全活動を通じて、生物多様性の保全をしていきます。



緑のカーテン



屋上緑化



2010年11月 植林活動